

第二十九回 国民文化祭・あきた2014 開催記念特別展

# 菅江真澄、旅のまなざし

重要文化財「菅江真澄遊覧記」一挙公開！



平成26年9月20日(土)  
～11月9日(日)

 秋田県立博物館

観覧料 大人 500円 高・大学生 100円 中学生以下無料 各種割引あり(博物館入館は無料)

  
芸術文化振興基金助成事業  
助成：(一財)地域創造

  
このイベントは宝くじの収益金の一部で実施されています。 秋田県

〒010-0124 秋田市金足嶋崎字後山52 Tel:018-873-4121 休館日：月曜日(祝祭日の時は翌平日) 開館時間：9:30～16:30(11月から16:00閉館) ホームページは『秋田県立博物館』で検索

# 菅江真澄という人

菅江真澄は、今の愛知県で生まれたという以外、生い立ちなどについて謎の多い人物です。

生涯の大半を旅に過ごし、北海道、北東北の二百年前のくらしを記録しました。その温かなまなざしでつむがれた旅の記録は、現代の私たちにとって、得がたい宝ものになっています。

## 展示構成

- 第一章 菅江真澄の旅と著作
- 第二章 真澄の肖像
  - ―うた人・くすし・旅人
- 第三章 いにしえ憧憬
  - ―遺物と歴史の記録
- 第四章 祈りの風景
  - ―仏と神と
- 第五章 くらしのかたち
  - ―北国をつむぐ
- 第六章 あきた遺産として



ナマハゲ最古の記録  
《男鹿の寒風》



ムラ境に立つ人形神  
《おがらの滝》



ムックリをひく少女  
《えぞのでぶり》

## 展示付帯事業

- 特別講演会 「五郎が語る 真澄！」 橋本五郎（読売新聞特別編集委員）  
10月18日（土） 午後3時～4時 会場／講堂
- 講演会  
第一回 「真澄が見た異形の神々」 大塚和正（新潟県立歴史博物館主任研究員）  
9月27日（土） 午後2時～3時30分 会場／講堂  
第二回 「真澄のまなざしを考える『あきた遺産の再評価』」 \*菅江真澄研究会共催  
石井正己（東京学芸大学教授）  
10月11日（土） 午後2時～3時30分 会場／講堂  
第三回 「真澄・篤胤・魯仙」『外浜奇勝』を通して見る津軽・秋田の国学事情」  
本田 伸（青森県立青森商業高校教諭）  
11月1日（土） 午後2時～3時30分 会場／講堂
- 上演会 「語りつなぐ菅江真澄」  
・真澄遊覧記に記された昔話の語りや紙芝居上演、男鹿のナマハゲの記録再現、猿倉人形芝居上演  
10月25日（土） 午後1時～3時30分 会場／講堂  
9月20日（土）、10月4日（土）、11月8日（土） 午後2時～3時 会場／企画展示室（要観覧券）
- 写真展 「真澄のいる風景」 会期中2階ロビーで開催

※定員がありますので、特別講演会・講演会・上演会は事前申込みが必要です。



### 《交通案内》

- JR 奥羽本線・男鹿線 追分駅下車 徒歩 20分（タクシー利用可）
- バス 秋田中央交通五城目線 金足農業高校入口下車 徒歩 15分
- 自動車 国道7号または県道41号をご利用ください。  
高速道路は秋田北ICから15分・昭和男鹿半島ICから10分

## 重要文化財「菅江真澄遊覧記」を一挙公開！

重要文化財を一挙に展示する他、遊覧記に描かれた寺院の宝物など合わせて約二百点をご覧いただけます。

（新しい文化の時代とは）没交渉に、  
遠く奥州北上川の片岸を、

こんな寂しい旅人が  
一人あるいていたのである。

柳田國男『雪国の春』より